

植田南中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年6月25日(火)

尾上 大河さん
【(株)佐伯コミュニケーションズ】

演題 はたらくたのしさ



営業、印刷物・WEB、動画、イベント等のディレクションをしている尾上さん。講演会では例題として、カップラーメンの商品開発をテーマにした生徒さんのグループワークを取り入れ、大きな盛り上がりを見せました。

生徒の皆さんに「仕事をするのが目的ではない」、「その先にいる人に喜んでもらうために仕事をする」と伝えました。「喜んでもらえる人になろう」ということが、最後の生徒さんの挨拶の言葉で伝わったと感じたそうです。

古田 武尊さん
【J：COM大分ケーブルテレコム(株)】

演題 営業の仕事をのぞいてみよう



お客様宅へ訪問し、営業をしている古田さん。講演会では、生徒たちにペアとなってもらい、ジェスチャーやお題を当てるなどの体験をしてもらい、契約をするためのアプローチにもつながる実践を行いました。

生徒の皆さんに「最悪の状況を想定すれば、いざその局面になったとき焦ることなく対処できる」と伝えました。クラスの雰囲気が良く話しやすい状況を作ってくれていたそうです。

吉野 愛己さん
【社会福祉法人 若草会 創生の里】

演題 訪問介護の仕事とは？



訪問介護ヘルパーとしてご自宅へ伺い、生活で困っているところをお手伝いしている吉野さん。母校での講演です。黒板に具体的なお仕事の絵を貼って説明をしました。

生徒の皆さんに「自分の心の声をちゃんと聞きましょう」、「自分と会話しましょう」と伝えました。これは仕事をしていくなかで吉野さんも大切にしていることです。話を真剣に聞いてくれたことが嬉しかったそうです。

植田南中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年6月25日(火)

平山 沙絵さん
【(株)大分放送 (OBS)】

演題 思いを言葉に～言葉のチカラ～



テレビ・ラジオニュースや番組出演、取材などを行っている平山さん。言葉を使わないジェスチャーでのペアワークや、正しい言葉やアクセントの学びを行いました。また、昨日読んだ実際の実稿も回覧しました。生徒の皆さんに「毒にもなる言葉は、良薬にしていこう」と伝えました。「話をする方も、言葉を浴びる方も、ポジティブな言葉を使ってほしい」という思いがありました。生徒たちは前のめりになって聞いてくれたそうです。

麻生 裕紀さん
【大分市消防局東消防署】

演題 消防の仕事とは
～学生時代を振り返って～



消防、救急、救助の仕事をしている消防士の麻生さん。中学生の頃の自分の話や消防士になるためにがんばったことを話し、訓練の様子をプロジェクターで説明しました。講演の最後では、実際に生徒さんが防火服、空気呼吸器などの着用体験を行いました。生徒の皆さんに「中学生時代は1回しかないのを今を後悔しないように一生懸命がんばってください」と伝えました。中学生にわかりやすく伝えることが難しかったそうです。

2年生5クラス。模造紙に生徒たちが書いた演題は、最後にアドバイザーにプレゼントされました。どのクラスもとても素敵な演題をイラスト付きの手書きで書いてくれていました。

